

中部部報 第3号

2017. 7. 1～2018. 6. 30

主 題

国 際 会 長 「ともに光の中を歩もう」
ア ジ ア 会 長 「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中 部 部 長 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」

ワイズメンズクラブ西日本区中部各クラブメンバーの皆様

2017-2018 中部部長 山内ミハル



もう40年近く前になりました。亡夫がワイズメンズクラブに入会しました。その2、3年前から、金沢クラブチャーターメンバーであった私の上司からワイズメンズクラブのことは聞いており、例会参加の勧誘をうけていて関心を持

っていた私は、夫の入会をうれしく思ったのを覚えています。早速毎月の例会に夫婦同伴で出席するようになりました。当時、メンバーの一人が部長を拝命したことから、メネット会が組織され、以来金沢クラブではほとんどのメネットが例会に参加するようになりました。メネットが例会やイベントに参加する事により、活動への理解が深まり、メンを支え、共に楽しむことができるようになりました。(夫婦円満の秘訣かも……。)

女性会員を認めてこなかった金沢クラブですが、私

の夫が天に召されたことから、私をメンとして登録していただき、今では女性メンバーは2人となりました。高齢化が進み、例会への参加が難しくなった方、天に召された方などメンバーは少なくなり、しかも愛知、三重から遠く離れた金沢で、部長をお受けするという事は、やはり困難が伴いました。そのため、皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまいましたが、部長拝受はクラブにとっても、私個人にとってもとても大きな財産となりました。中部部会の開催とクラブ創立70周年記念例会、合同メネット会の開催は、その準備のため大変忙しい思いはしましたが、その分結束力が高まり、力を合わせて頑張ることができました。他クラブ部長公式訪問もキャビネットが随行してくださり、他クラブの例会を体験させていただいて、ドライブを楽しむことができました。私には西日本区の各地に多くの友人・知人ができました。ワイズ活動の中で、多くのワイズの手助けをうけ、親切を受けました。仕事で訪ねた地では、何人ものワ

イズメンの方々にお世話になることもできました。皆さま本当に有難うございました。

各クラブ、各事業の報告は、下記に主査・会長の皆様から報告していただきました。

天国の夫へのお土産話がたくさんできた思いです。
ワイズメンズクラブ 万歳！

2017.7.1~2018.5.19 第3回評議会報告



2017-2018 第3回中部評議会が、池下の名古屋YMC A本館5階で開催された。午前には、中部 EMC シンポジウムが開かれ三科仁昭 EMC 西日本区主任の提言と荒川ワイズの報告があり、中部のワイズ起こし運動体系について話し合いがなされた。共に、お弁当を頂きながらの懇談の後、評議会は13時15分から開かれた。

山内部長の挨拶があり、算定出席者数19名、出席者数17名で、会は成立した。議長は部長が務め、第1号議案「2016-2017 中部部部長報告」が山内部長から報告された。続いて第2号議案「2017-2018 年度会計決算中間報告」が中部会計伊藤ワイズによってなされ、両議案共に承認された。

この後で、各事業主査の報告、各部会活動報告が各会長からなされ、荒川監事の講評に続いて、山内部長の閉会の祈り、閉会点鐘を持って終了した。会議では、EMC シンポジウムの名残もあって、各クラブともどのようにして楽しいクラブ運営を行い、仲間を増やすにはどうすべきかという問題が議論された。続いて2018-2019 第1回中部評議会が開催された。

各事業主査と会長からの報告は、以下の記事にも掲載されている。別に纏めた評議会議事録に資料等を掲載している。名古屋での評議会の開催にあたり、いろいろとお世話になった谷川名古屋クラブ会長に謝意を表したい。

報告者 中部書記 西 信之

役員・主査・会長報告

中部Yサ・ユース報告（後期）

Yサ・ユース事業主査 小林滋記

金沢地区

4月30日 金沢YMCA たけ

のこ掘り体験 4月26日 金沢YM

CA会員総会

金沢YMCAわいわい農園活動

名古屋地区

3月21日 名古屋YMCA 卒業リ

ーダー感謝会



3月24日 第七回春のウォーキング

3月名古屋YMCA 日本語学院開校

名古屋市内中学バスケットボール大会

日韓ユースセミナー

名古屋YMCA大会

名古屋YMCA南山バザー

名古屋YMCAチャリティーラン

また今YMCAでは「ポジティブY」の愛称で新たなブランドロゴを作成し、みつかる。つながる。よくなっていく。をブランドスローガンとしてスタートしました。ワイズメンも協働して連携を深めて下さい。

地域奉仕・環境主査を終えるにあたって

地域奉仕・環境事業主査 浅野 猛雄



私は、中部部報の第1報で吉田由美事業主任の事業方針を皆様にお伝えし、献金ゼロクラブを無くそうとアピールを致しました、しかし、残念ながら目標を達成したクラブは4クラブのみで、その他のクラブは一部未達かゼロでし

た。

第3回中部評議会に参加して

2018-2019 中部部長 柴田洋治郎



2017-2018中部の山内部長はじめキャビネットの皆様、1年間ご苦勞様でした。

中部の各クラブはここ数年、会員数漸減に悩まされる一方で、少人数ながら独自の暖かみある集いの場を目指しているところも見受けら

れます。ワイズの基は当然のことながら各地のクラブから成り立っています。私は次期部長になりますが、西日本区が標榜する様々な運動項目だけに執着することなく、各クラブがYMCAとともに有意義な奉仕活動を行い、楽しいクラブ作りをすることが求められていると考えています。

我が国では度重なる大震災や災害が起こる度に、NPO等の非営利組織の存在がクローズアップされてきました。災害時に限らず、官の目の行き届かない、社会矛盾を背負った障害者、高齢者、幼児等を見守り、支援の手を差しのべることは国内外を問わず、大きなムーブメントとなっています。この点、YMCAやワイズは奉仕団体として、長い歴史と実績を有する組織であり、社会的に貴重な存在であると自負しても良いと言えます。

我々の活動は今後益々重要性を増すことは間違いなく、各会員が知恵を出し、汗を流すことに対して、中部部長として微力ながらお手伝いできればと考えています。

各クラブが行なっている地域奉仕活動は引き続き行われている様ですが、献金(CS、TOF、FF、RBM)となると中々ご理解頂けない様です、ワイズメンズクラブのモットーは「強い義務感をもとう。義務は全ての権利に伴う」です、次年度以降地域奉仕活動関係の献金ゼロクラブを無くす様ご協力をお願い致します。

また、11月の中部評議会には地域奉仕・環境事業で西日本区に申請すればその事業の資金の内の一部が援助される制度についてお知らせを致しました、これはその事業の実施前に申請しなければなりません、次年度からこの制度を念頭に入れて貴方のクラブの事業を区に申請してみてください。

中部 EMC 事業報告

EMC 事業主査代行 谷川 修



2017-2018年度のEMC主査は、名古屋クラブの河部ワイズが担うことになっておりましたが、病気療養が長引いたことから、クラブ上げて代行を立て、果たすべき業務をこなしていくこととしました。

ひとつは、毎月の例会出席率の集計と区への報告、こちらは川本ワイズがすすめてくれました。私谷川は、EMCシンポジウムの開催を部長のもとすすめました。シンポジウムについては、荒川ワイズ(名古屋グランパス)が作成してくれたレポートをご覧ください。

中部としての会員の異動は特に耳にしておりませんが、名古屋クラブは3名のワイズ、特別メネット2名が期末で退会となりました。70周年を区切りとしたようです。加齢や病気のため、例会出席がままならなくなったことが一番の理由のようですが、輝かしい時代を切り開かれ、歴史を積み上げてこられた先輩方に頼りきりであったつけがついに現れたと、反省しきりです。60歳代以下のメンバーが、この反省に立ち、ワイズ100年に向けて 思いを新たにEMCに取り組むこと、名古屋クラブに限らず、部としてそれが求められています。

次期につなぐ大きな課題です。

2017－2018年度国際・交流の感想

事業主査 塩川 彰彦

主査担当の塩川から今期の感想を若干記述させていただきます。

就任当初は、隣国韓国のIBCクラブとの交流を活発にしようと思論見、私が所属する四日市クラブの国際兄弟クラブ、韓国『TAEGU GAMMA』クラブと何とか連絡をとり訪問しようとしたのですが、勝手ながら舞台俳優としての出演が2017年9月から2018年5月初旬まで、東京都内で5公演、大阪市内2公演、名古屋市内1公演というスケジュールとなり、また、大阪のFM局での声優(ナレーターとして)としての出演もあり、2017年9月後半からワイズメンズ活動を一時中断しなければならなくなり、皆さまに大変ご迷惑をおかけする結果となりました。

ただし、個人的に韓国ソウル滞在のおり、2017年10月16日(15日～17日ソウル滞在) 塩川彰彦単独にて、韓国ソウル市内にあるソウルYMCAを訪問しましたが、組織的な交流からは程遠い単独行動であったため、惨めな結果となりました。

今後も、韓国各クラブとの交流を促進していきたいと考えておりますので、もしよろしければ、皆さまからのお力添えを賜れば幸いです。

なお、今期は別途報告書にもございますように、名古屋ワイズメンズクラブより2018年3月3日、4日、事業名:DBCトライアングル&IBC交流会として盛大な交流事業がなされましたので、あらためて名古屋ワイズメンズクラブ創立70周年をご祝福申し上げますとともに、名古屋ワイズメンズクラブの皆さまのご活躍に感謝申し上げます。以上、今期の感想として御報告申し上げます。

中部メネット主査活動報告

中部メネット事業主査 数澤淑子

○第 21 回中部合同メネット会の開催



11 月 18 日(土)～19 日(日)、金沢の湯涌温泉「お宿やました」を会場に「第 2 回中部評議会」と同日開催。神戸クラブより中道メネット事業主任はじめ 6 人のメネットさん、西日本区大野理事、進藤書記、大阪より遠藤次期理事、評議会出席の中部

役員の方々、金沢クラブのメン・メネットが参加。「子どもの貧困」についての啓発活動として「NPO フードバンク金沢・能登」の代表の津田たまえ氏に講師を依頼、講演を通してこの地域での知られざる子どもたちの貧困の状況を知ることが出来た。

○子どもの居場所づくりをしている団体を支援

名古屋 YMCA「学童キャンプ」の活動を推薦、西日本区の承認を受け、10万円が寄付される。

メネット事業主査として

○ 7月1日(土) 西日本区メネット事業主査研修会・懇親会に出席 於:神戸YMCA三ノ宮会館

○クラブ訪問

9月 24 日(日) 金沢犀川クラブの第一例会に出席

10 月 10 日(火) 名古屋クラブ第一例会、山内部長のクラブ訪問に同行

4月 12 日(木) 四日市クラブ・津クラブ合同例会、同上

4月 17 日(火) 名古屋グランパスクラブ第一例会、同上

各クラブ活動報告

2017-2018 一年を終えて

金沢クラブ会長 幸正 一誠

今期 10 名のワイズメンと 7 名のメネットでスタート致しました。この少ないメンバーより中部部長とそのキャビネットを輩出し、9 月には金沢にて中部部会をホストし、重ねてクラブの 70 周年祭も執り行いました。11 月には中部合同メネット会も開催致しました。一重に、全国のワイズメン・メネット、取り分け中部の諸クラブの皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。



前期は例会を守りながらも、上記の準備に忙しい日々でした。後期はメネット会恒例の「芋煮会」・ニューイヤーパーティー・観桜会など金沢クラブらしい特別例会を催しメンバー間の親睦を更に計りました

会長主題の実施については不十分と反省しています。しかし、現在 2 名の方がほぼ毎月ゲストとして参加して頂いており、入会に繋がりたいとクラブ一同願っています。

名古屋クラブの 2017-2018 活動報告

名古屋クラブ会長 谷川 修



今期の名古屋クラブは、チャーター 70 年を念頭に活動を展開した。活動方針は、「① 明日のリーダーを育てる。② 地域活動を地域の人々とともに行うことで、認知度を高める。③ 若い力を吹き

込むことで 活性化を図る。④ IBC、DBC のみならず、広く交流を図る。⑤ 第一例会の充実 ⑥ 広報に力をいれる。⑦ YMCA 活動をバックアップする。」とした。

改めてふりかえってみると、④ 広く交流を図る。⑤ 第一例会の充実 ⑦ YMCA 活動をバックアップする の3点は、70 周年記念事業のとりくみもあって、想定かそれ以上の実績を積み上げられたかなと自負するものの、他の① ② ③ ⑥は、成果とよべるような実績を積み上げられなかったと反省しきりである。3月4日に開催した 70 周年記念例会は、クラブ総員に近い取り組みとなり、133 名ものワイズ、元ワイズ、支援する団体の皆様にご参集賜り、ホスピタルクラウンの大棟耕介氏のトーク&パフォーマンスに大感激をしていただき、大成功を遂げたとの満足感があるものの、これが、次の 100 年につなぐものとなったのかという点では疑問が残る。これを区切りとばかりに、相次いで退会の申し出が、長老的なメンバーから出た。慰留につとめたものの、辞意は固く、また、それぞれの退会の理由、体調不良、年齢的なこと等は納得せざるをえず、退会もやむ無しとクラブとして判断することとなった。輝かしい一時代を築いてきて下さったメンバーにいつまでも頼りきりであったことを真摯に反省しないといけなと思う。何より、自分のような 60 代とそれより若手をもっと 会員増強を本気で取り組まないといけなと、期の終盤になって思い知らされた。次期会長をバックアップし、この点を自らの大きな宿題とし この課題に取り組んでいきたい。

以上の総括にたちつつ、一年の活動を振り返る。

第一例会 7 月 11 日(火) 定期総会

8 月 27 日(日) 納涼バーベキュー例会(愛知牧場にて、チャーター記念)

9 月 12 日(火) 卓話「東京パラリンピックをめざして」(講師;; 加藤 尊氏)

10 月 10 日(火) 卓話「“日本語学校”構想について」(名古屋 YMCA 総主事 中村 隆氏)

11 月 14 日(火) 卓話「名古屋ワイズ 70 年を振り返る」(西村 清ワイズ)

12 月 9 日(土) 70 周年記念クリスマス例会 クラウンと過ごすクリスマスナイト

1 月 9 日(火) 卓話「インドを旅して」(講師;遠藤恵美子名古屋

屋 YMCA スタッフ)

2 月 13 日(火) 70 周年記念例会準備 協議会

3 月 4 日(日) 70 周年記念例会

4 月 10 日(火) メネットナイト 卓話「生活困窮者支援からみた子どもの貧困」(講師;佐藤 康光氏)

5 月 15 日(火) 卓話「人生泣き笑い、よもやま話」(講師;近藤よし恵氏)

6 月 12 日(火) 年度のふりかえり、次年度方針 協議会

Y サ事業

11 月 4 日 チャリティーランでみたらしだんごの提供やチームスポンサー

11 月 24 日 チャリティーゴルフ、12/23 クリスマスキャロルのお手伝い

地域奉仕事業 10/9 発達に遅れのある路上生活者支援事業所 NPO 法人「からし種」支援

12 月 9 日 重度の障がい者の日中活動の場 NPO 法人愛実の会でのクリスマス奉仕

6 月 30 日 児童養護施設「南山寮」児童と YMCA 日本語学校 学生招待 潮干狩り

交流事業 3/3 70 周年記念例会に合わせた IBC、DBC 交流

会員異動 入会 7 月 11 日 2 名(可知 将、平野実郎), 9 月 12 日 1 名(深谷 聡)

退会 12 月 31 日 1 名(山口一雄) 3 月 31 日 2 名(尾関 明・寺田仁計)

メネット 輝かしい活動を展開したメネットであったが、次を担うメネットがなかなか現れず、高齢化に伴い、メネット会としては休止になった。

名古屋東海クラブ半期の活動報告

名古屋東海クラブ会長 長谷川和宏



先ずはこの1年間、皆様のご支援に心より感謝いたします。会長としてこの1年を振り返ってみたい。

・YMCAサービス・ユース事業と地域奉仕事業は「プランの前の検証不足かな」

2チームをスポンサーしたチャリティーラン、チャリティーゴルフ、YMCA大会、YMCA日本語学校開設支援、YMCAバザー補助、リーダー支援、中学校バスケットボール大会、学童キャンプ支援、クリスマスカードコンテスト、クリスマスキャロル、チャリティーウォーキング、矢継ぎ早やの行事にクラブとして精一杯尽力したが、的を絞れなかった。結果、活動の柱はできず。「〇〇〇〇の東海クラブ」という特徴を樹立できなかった。

・EMC事業では「・・・成らぬは人の為さぬなりけり」メンバー増を達成できず残念。工夫された、第1例会は8回のゲスト卓話を行うことができ勉強になり楽しかった。出席率も常に高率を維持でき、ドロップゼロを達成できました。にもかかわらず、例会へのゲスト参加者を多数迎えることができず、新入会員を迎えることができませんでした。敷居が高いのか受け皿を考え直してみることが必要かもしれない。

・国際・交流事業は「計画的参加・派遣への転換」合同例会、DBC交流会、中部部会、中部評議会&メネット会、西日本区大会、国際大会を含め豊かな活動を展開できた半面、参加者に偏重があり、参加しやすい方法を探りたい。

・広報・ブリテン事業では「なぜなぜ分析を皆まで」ブリテンの毎月1日発行を達成。メンバー中心に約80部を送り届けてきた。費用対効果を図ってみることも求められる。一方、今後のクラブ広報とブリテンの在り方をじっくり見直したい。

・他にジャガイモとコーンの販売、ニコニコ募金とオークションでファンづくり、春秋の根の上まつり、他クラブ周年行事、研修会などプラス、毎月の第2例会と実に多忙な1年間であった。楽しい1年でもあった。反面、事業活動計画が、重かった1年であった。次期役員にはこの教訓を活かし、思い切った刷新・展開をいただければ幸いである

名古屋南山クラブ活動報告

南山クラブ会長 深尾 俊雄



「輪を拡げ、明るく、楽しく、元気よく、YMCAと共に」を会長標語に、ここ数年の活動を踏襲し、以下を重点に1年間活動しました。

- (1)年数回の合同例会の実施
- (2)YMCA等の野外活動の場としてのワイズ農場の整備

(3)ゲスト(ワイズサポータの参加)

合同例会は3回実施でき、月次例会では例年同様出席率100%を維持しました。ワイズ農場では秋の「イモ堀り」に加え、春の「タマネギの収穫」を定着させることができそうです。又、農場例会等には昨年以上に多くのゲストを迎えることができました。一方会員数は1名減の8名となり、メンバー数の減少と高齢化の問題は年毎に大きくなり、2020年に迎える設立50周年、そして2019年の部会ホストを前に今後の方向を確認し共有することの大切さを実感した1年でした。

1年間ありがとうございました

四日市クラブ会長 塚本浩巳



長いようで短い1年でした。例会をキチッと開催することに心がけてきました。幸い6回の講師例会を持つことができ、うれしく思っています。

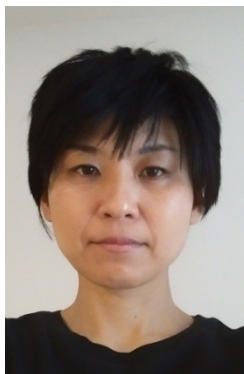
会員増強は、ワイズの存在意義と理解、YMCAの理解が十分行われないと、だめだと、これまでの状況から

そうのように思っています。思いがけないことが起こってくる。そこに会員の変動の要因があるのではないのでしょうか。現在の会員の皆さんは、コアになる方々と思っています。

今は、進むべき時か、とどまるべき時か、じっと我慢する時か。ゆっくりと、四日市クラブについて考える時のように思います。

名古屋グランパスクラブ下半期活動報告

名古屋グランパスクラブ会長 下村明子



2017年12月

■南山クラブとの合同クリスマス例会
(名古屋市内のレストランにて)

メネットの参加も多くにぎわうが、各メンバーのコメントが成長し、参加がなくなった。

■クリスマスキャロル(JR名古屋駅前にて)

運営スタッフとして参加。キャロルの聖歌隊は140名

2018年1月

■新年会(名古屋市内のレストランにて)

クリスマス例会同様、メネットやゲストの参加で賑わう。YMCAリーダーOG2名の参加。

2018年3月

■名古屋クラブ70周年記念例会(アイリス愛知)

クラブから6名が参加。中でもホスピタル・クラウンのパフォー

マンスが好評だった。

■名古屋 YMCA リーダー感謝会(南山 YMCA にて)

運営スタッフとして参加。5名のリーダーの門出を祝う。

■春のウォーキング(堀川沿いを中心に)

在名クラブ(主に東海クラブ)主催。参加費の30,000円を東北震災の支援金として被災地のYMCAとワイズメンズクラブへ届けた。(東北震災応援ツアーで届け済み。)

2018年4月

■名古屋 YMCA 日本語学院見学

学院ロビーに、学生たちが休憩時に飲食をするためのテーブルとイスを寄贈。

■東北震災応援ツアー(福島を中心に)

DBCの京都東稜クラブほか、名古屋クラブ、中部以外のクラブメンバーも参加。

原発事故のその後をテーマに、地元で活動する方々に現状を伺う。

■中部部長公式訪問(名古屋 YMCA にて)

東北震災応援ツアーの報告を行なう

山内ミハル中部部長をはじめ4名の部役員の方々にゲストとして訪問いただいた。

2018年5月

■リーダートレーニング(名古屋 YMCA 日和田キャンプ場にて)

名古屋 YMCA 野外活動ボランティアリーダーの食事支援と交流(バーベキュー)

津クラブ下半期活動報告

津クラブ会長 千賀直道



1月13日(土) 新年餅つき大会

特養 心豊苑

恒例の餅つきは施設入所者も喜んでいただいています。小稔は150食を用意しました。

入所者には職員の人が食べやすい大きさにして提供しています。来年の予定も決まりました。



3月4日 名古屋クラブ設立70周年記念例会に参加



4月12日(木) 四日市クラブと合同例会

阿倉川 YMCA 幼児園

山内中部部長公式訪問



6月2日 YMCA バザー支援



亀野君が育てた苗を無償で提供

金沢犀川クラブ下半期の活動報告

金沢犀川クラブ会長 北 肇夫

1. 11月～3月までの活動計画と実施状況

11月9日(木) 11月第一例会(ワイズデー特別例会) 卓話「町家を使い続けるために」

武藤清秀氏(一級建築士、歴史的修復士) 参加者数 12名

12月14日(木) 12月第一例会(クリスマス特別例会) メッセージ「神の信頼に包まれて」

田口昭典牧師(日本バプテスト連盟 金沢キリスト教会) 参加者数 14名

1月25日(木) 1月第一例会 卓話「子供たちのやる気スイッチを入れる」 多賀千之氏(多賀クリニック院長)参加者数 7名

2月15日(木) 2月第一例会 卓話「ギリシャ・南イタリア旅行体験談」瀧平才治氏(元 クラブ会員) 参加者数 5名

*大雪のため、温泉地で宿泊しての「新春特別例会」を中止し、通常の会場で開催した。

3月8日(木) 3月第一例会(部長クラブ公式訪問)

卓話「睡眠～ぐっすり眠って、すっきり目覚めのために～」

中島素子氏(金沢医科大学 公衆衛生学 教授) 参加者数 14名

2. 新規または特記事項

11月5日(日) びわこ部会(ウッディパル余呉) 参加者数 4名

11月18日(土) 第2回 中部評議会・第21回中部合同メネット会(湯涌温泉 お宿 やました)

参加者数 1名

11月26日(日) ながまちふれあいフェスティバル2017 に企画・運営に参加。

4月30日(土・振休) 竹の子特別例会(金沢YMCA共催:たけのこ掘り体験)

北陸学院大学 三小牛キャンパス *多くのメネットさんに食事などの準備に協力いただく予定。

3. 4月～6月までの活動予定

4月30日(土・振休) 竹の子特別例会(金沢YMCA共催:たけのこ掘り体験)

北陸学院大学 三小牛キャンパス 参加予定数 30名程度

5月10日(木) 5月第一例会(ギター演奏の夕べ)

演奏「旅するギタリスト～土地の音を奏でる～」 垣田堂氏(ギタリスト)

6月14日(木) 6月第一例会(引継例会)

卓話「卓話「ナホトカ号重油流出事故から 21 年—海洋環境



中部EMCシンポジウムレポート

開催日:2018年5月19日(土)

場 所:名古屋YMCA 5Fチャペル

参加者:2017-2018 中部 山内中部部長(金沢)、西中部書記(金沢)、伊藤中部会計(金沢)、数澤事務局長(金沢)、河辺EMC主査、谷川EMC主査代行(名古屋)
クラブ会長 谷川修(名古屋)、長谷川和宏(東海)、塚本浩巳(四日市)、下村明子(グランパス)、
2017-2018 中部 柴田次期部長(東海)、八木次期書記(東海)、浅野次期会計(東海)、橋爪事務局長(東海)
次期会長 池野輝昭(東海)、荒川恭次(グランパス)、北肇夫(金沢犀川)
一般参加 清水淳(金沢)、川口恵(名古屋)、杉山弘時(南山)、小林滋記(南山) 早川政人(グランパス)
西日本区 三科EMC事業主任

1. 三科EMC事業主任による基調講演



パワーポイントにより西日本区の現況および京都部の特色について説明があった、また、YMCAリーダーの意識内でのワイズの存在、ワイズメンズクラブでのクリスチャニティーの扱いについての課題等、会員増に向けての取組むべき課題の提起があった。

2. 新生ワイズ起し運動のDVD視聴

ワイズ将来構想特別委員会制作のDVDを視聴し、荒川委員が「中部の現状資料」により補足説明した。

3. 中部各クラブのMCに関する現状と活動状況について

各クラブ共通の課題は高齢化である。今後の10年の間に改善されないと消滅するクラブが必ず出る。また現在10名以下クラブ(南山、金沢犀川、津)は会員増の意欲はあるが手だてが無い。今後はクラブ統合をも視野に入れて検討を行う必要がある。

4. 富山クラブ(仮称)のエクステンションについて

富山YMCAのサポートを目的に設立準備が進められている新クラブ設立の状況について、清水準備委員より説明がされた。当初予定では6月チャーターを目指していたが、準備の遅れによりチャーターは来期中としたい。

5. 新生ワイズ起し運動の中部実働委員の確認

ワイズ起し運動における中部の実働委員は下記のとおりとして確認された。従前の200チームとは違い、会員増を強調せずクラブの内容充実向上を目指して活動展開する。具体的活動の検討については次回からとする。

各クラブ実働委員名

1. 金沢クラブ:山内ミハル
2. 名古屋クラブ:谷川 修、河部 薫
3. 東海クラブ:池野輝昭、柴田洋次郎
4. 南山クラブ:杉山弘時
5. 四日市クラブ:塚本浩巳
6. グランパスクラブ:三井秀和、荒川恭次
7. 金沢犀川クラブ:澤瀬 諭
8. 津クラブ:未定

(作成:荒川恭次監事)

[編集後記]

第3号をようやく発行できますことを感謝します。多くの皆様のご協力で10ページに亘る部報ができました。多くのクラブで高齢化による課題があることを実感しましたが、この活動が更に活発に継続されるよう頑張らしましょう。

直前書記 西 信之